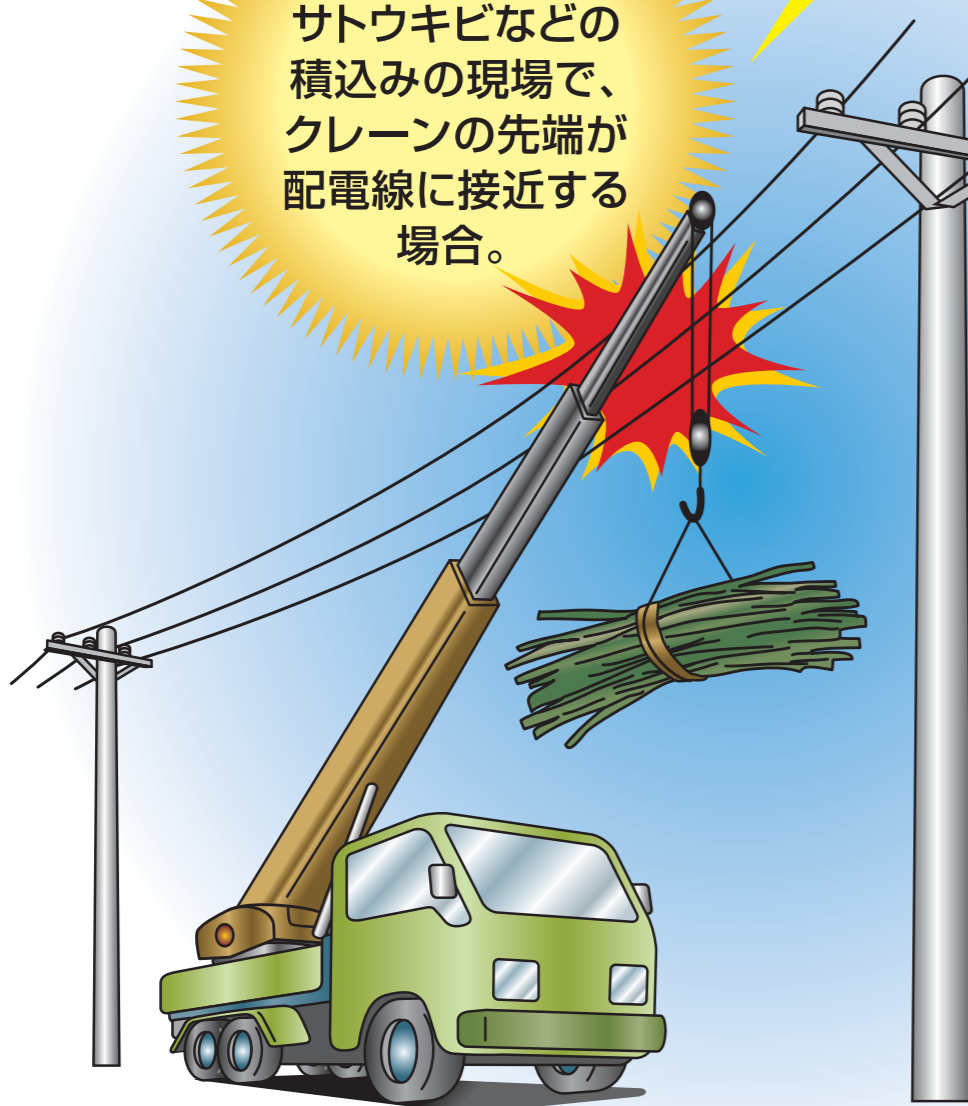


注意!! 配電線への接近は 人身事故につながります。

配電線の電圧は6,600ボルトにもなり、触れると大変危険です。
高圧線接近作業は、必ず沖縄電力にご連絡ください。

CASE 1

サトウキビなどの積込みの現場で、クレーンの先端が配電線に接近する場合。



CASE 2

建築工事や道路工事などの現場で、足場や工作物、建設機械、または作業者が配電線に接近する場合。



CASE 3

台風等で電柱が倒れ、電線が垂れ下がっている場合があります。絶対に触らないでください。



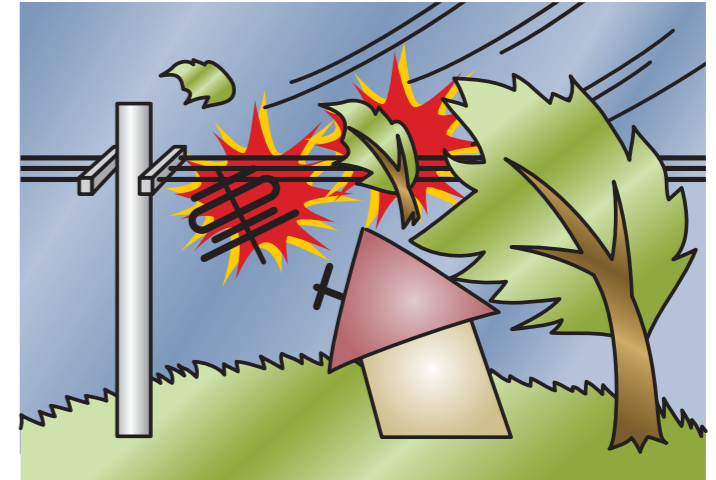
※台風等で電柱が倒れていても、停電しているとは限りません。絶対に触れないでください。

台風など、もしもの時に備えて

はがれそうなタンやビニールハウスなどは、強風で飛ばされないように予め堅固に固定しておきましょう。

アンテナや樹木は堅固に固定し、庭木の枝等は、適当な高さに伐採しましょう。電線に接触し、停電の原因となることがあります。

工事現場の資材等は、予め堅固に固定して保管しておきましょう。電線に絡まると停電をおこす場合があります。

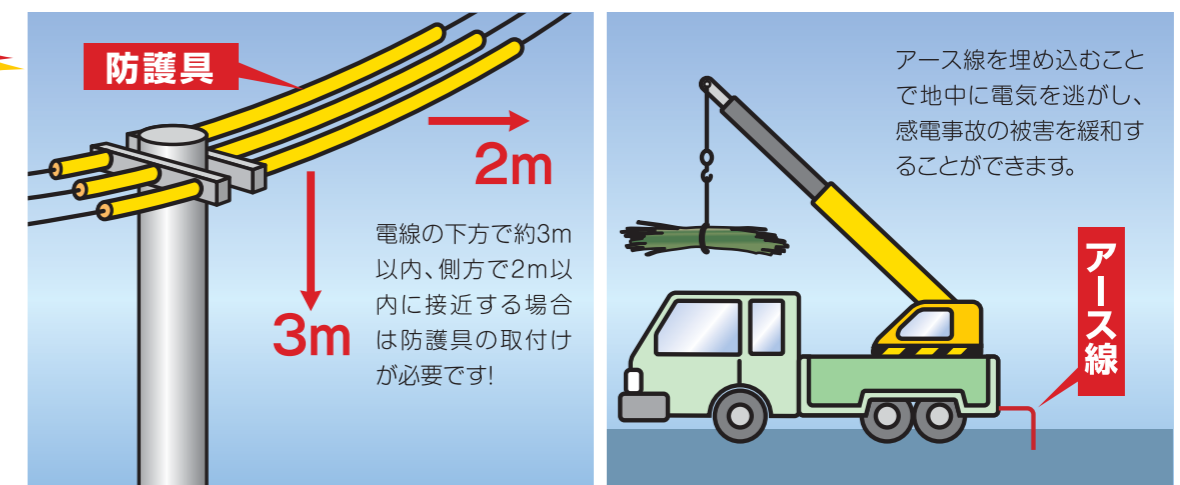


沖縄電力では、配電線まわりの事故防止のために防護具の取付等を行っています。

防護具のお申し込み方法は、裏面に記載しています。

ルールを守って毎日の安全を実現しましょう。

- 1 クレーン運転前に作業現場の上空確認を習慣づけましょう。
- 2 作業責任者は作業現場上空に電線を確認した場合、クレーン作業に十分な安全措置をはかり、作業をすすめましょう。
- 3 車体にアース線を取付けることも効果的です。
- 4 配電線近くで工事や農作業を行う際には、感電事故や接触事故を防止する細心の注意が必要です。電線の下方で約3m以内、側方で2m以内に接近する場合は防護具の取付けが必要です。



PREVENT ELECTRIC SHOCK ACCIDENTS!